

今、社会政策には何が欠けているのか？ 政策の整合性は？
先駆的なオーストラリアの社会政策の全体像を本格的に紹介！

オーストラリアにおける 社会政策

— 社会実践のための基礎知識 —

アリソン・マクレラン 編
ポール・スミス 編
新潟青陵大学ワークフェア研究会 訳

- 財政との整合性を伴った長期ビジョンの形成が最も問われている現在、本書は格好の基礎文献となる。
- 我が国の社会政策のトータルな政策論の形成のために、先進的なオーストラリアの取り組みを詳細に解説した。
- 整合性ある社会政策理論「ワークフェア」を軸に、オーストラリアで研究、実施されている社会政策の解説書（英文）を邦訳した。



A5判・352頁
定価 本体3,700円+税

第9章 オーストラリアの社会保障政策：低負担高福祉は可能か？

ステファン・ジグラス

はじめに

オーストラリアには、野生生物やオーストラリア・フットボールのように、他国とは異なる社会保障システムがある。それは、高く目標設定され、一般財源により資金供給される。また、所得比例給付ではなく定額である。目標の高さは、使用可能な財源から最低限の給付を行い、最大の利用を確実にしてきた。しかし、給付の形態、就業した場合の高い実効限界税率（EMTRs）に対して市民の支持は得られているとはいえない。また、低額な給付は、社会保障へ依存する多くの人々が深刻な財政的ストレスの中で生活せざるを得ないことを意味する（ACOSS 2004b; Senate Community Affairs References Committee 2004）。

第1節 歴史的概観

表9-1は1900年代における主要な社会保障の変遷である。この時代には、1900年代初期、第二次世界大戦後、1980年代後半に根本的な社会保障の変化が

表9-1 主要な社会保障の変遷 1901~2005

年	政策
1901	ニューサウスウェールズ州とビクトリア州で老齢年金導入
1909	収入と資産調査を伴う連邦老齢年金施行
1910	廃疾年金開始
1912	出産手当導入 母親に対する1回のみの支払い
1928	拠出制国民保険の計画が提案されたが否決
1929	世界大恐慌、州で 'dole' が管理される。 救済活動は、失業手当と同等の手当を受けるために最低賃金のパートタイムで働くことを失業者に要求した
1931	老齢・廃疾年金は経済的な手段として減額された。出産手当は資産調査あり
1938-41	拠出年金法案が通過したものの、支持が得られず廃案となる
1941	資金を給付と税とする統一的児童手当計画が導入される
1942	寡婦年金導入
1944	失業、疾病および特別給付を導入、連邦雇用庁設立
1969	老齢年金撤退率が自由化
1973	孤児年金導入
1976	老齢年金への資産調査撤廃、家族手当は児童手当と税金の払い戻しに切替
1977-80	両親手当は寡夫手当へ拡大、6ヶ月の待機期間で廃止
1983	低所得世帯に対し世帯所得補足手当導入
1985	老齢年金に対する資産調査再導入
1986	家族手当への資産調査、家族手当は多くが寛大な収入調査で世帯所得補足手当へ切替
1991	失業給付支援導入、ワークテストはトレーニングを含めるように改正

内容見本



第一法規

東京都港区南青山2-11-17 〒107-8560
http://www.daiichihoki.co.jp

Tel. 0120-203-694
Fax. 0120-302-640

第1部 社会政策に関する概説

- 第1章 社会政策とは何か
- 第2章 価値・概念および社会政策のデザイン
- 第3章 基礎的理解と実践活動のための枠組み
- 第4章 政策決定と実践活動のための制度的背景

第2部 歴史的・国際的背景および 社会実践のための改革の方向性

- 第5章 社会実践のための歴史的背景
- 第6章 オーストラリアの社会政策と国際的背景
- 第7章 改革と挑戦

第3部 社会政策の実践のための対象領域

- 第8章 雇用政策：失業と労働市場の不安定性
- 第9章 オーストラリアの社会保障政策：低負担高福祉は可能か？
- 第10章 オーストラリアの住宅政策：議題にすらなっていない重大問題
- 第11章 オーストラリアの医療政策：拡大する格差に向けられた関心
- 第12章 教育政策：市場と社会
- 第13章 コミュニティ・サービス：21世紀に向けての挑戦
- 第14章 課税：社会政策を実施するために必要な支出

書籍の立ち読み、お申し込みはコチラ
<クレジットカードでもお支払いいただけます>



第一法規

検索

CLICK!